

食料カンパニー

商売は商品を買って終わりではなく、その商品が売れたかを常に気に掛ける必要があります。この川下思考を徹底することで、川上から川下までのバリューチェーンを更に強固なものにし、グループ各社を含めた企業価値向上を図ります。

食料カンパニー プレジデント
久保 洋三



組織

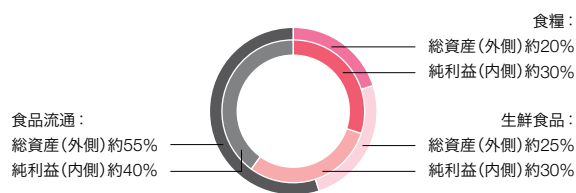


左から
食糧部門長
食料カンパニー プレジデント補佐
(兼)生鮮食品部門長
食品流通部門長
食料カンパニーCFO
食料経営企画部長

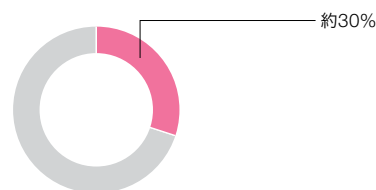
貝塚 寛雪
山村 裕
細見 研介
京田 誠
井上 健司

各種構成比

カンパニー内連結分野別構成比(イメージ)



カンパニー内海外事業損益割合(イメージ)





現状分析

強み

- 業界トップクラスの中間流通・リテールネットワーク
- 世界に広がる生鮮3品（農産品、畜産品、水産品）の生産・流通・販売バリューチェーンの保有
- 食糧原料におけるグローバルサプライチェーンの保有

収益機会

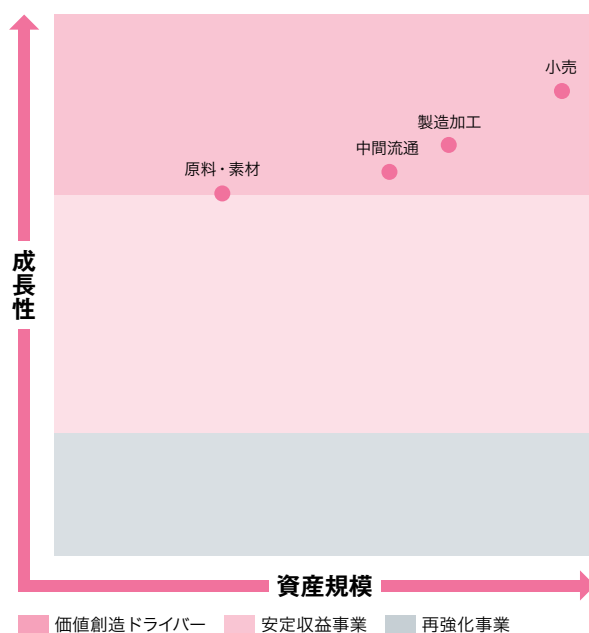
- 川上から川下の強固なバリューチェーンの保有
- CITIC / CPグループとの戦略的提携を軸とした事業展開
- 中国、アジアを中心とした人口増、所得増による市場拡大
- 食の安心・安全に対する消費者意識の一層の高まり
-  サステナブル原料の供給体制の強化

挑戦すべき課題

- 国内人口減少や少子高齢化による市場縮小への対応
- 食糧資源の安定供給源の確保
- 海外における強固なバリューチェーンの構築
-  気候変動リスクへの対応
-  サプライチェーンマネジメント（人権・労働慣行・環境）への対応

マテリアリティ  環境への配慮  持続可能な資源の利用  人権の尊重・配慮  地域社会への貢献  労働環境の整備

資産ポートフォリオ



成長戦略

付加価値の創造

- ユニー・ファミリーマートホールディングス(株)と金融・IT・物流・サービス等の周辺事業での収益拡大
- Dole 事業の規模拡大
- 伊藤忠グループのバリューチェーン強化
- 優良パートナーとの協業推進（CITIC / CPグループ等）

資産戦略

- 既存事業の関係強化
- 業界再編の主導
- 経営効率化の促進

企業価値拡大に向けた取組み

付加価値の
創造

+

ESG

Dole 事業におけるターンアラウンドについて

当社は2013年4月に米国のドール・フード・カンパニーから、アジアにおける青果物事業と、グローバルに展開する加工食品事業を買収しました。買収以降、主要商品の最大生産拠点であるフィリピンで台風、干ばつ、病虫害等が発生し、バナナの生産数量は買収前と比べ約4割減少しました。当社のグループ金融制度を含む資金力の活用及びマネジメント・現場への人材派遣を通じて、生産量の回復・拡大に努めています。具体的には、バナナにおいては灌漑設備の導入、農地の集約・拡張、病虫害対策等、パイナップルにおいては農園への設備投資と栽培方法見直し等を行っています。更に、天候不順等のリスクに備えた産地の多角化の推進や、事業・商品の選択・集中、不採算事業の整理等の経営改善も実行しました。

2016年度は販売価格の好調や各種コスト削減も奏功し、収益が改善しました。今後2020年度までにフィリピンでバナナを2016年度の44万トンから80万トンに、パイナップルを75万トンから100万トンにする増産体制を整え、アジア最大の農産物インテグレーターを目指します。



フィリピン ミンダナオ島 パイナップル農園



フィリピン ミンダナオ島 バナナ農園

付加価値の
創造

プリマハムとのシナジーについて

当社は、ハム・ソーセージ及び食肉の加工・販売事業を展開するプリマハム(株)に資本参画しています。

同社の主力であるハム・ソーセージ事業については、2016年に茨城工場内に新ウインナープラントを竣工・稼働させ、生産力強化を図っています。また、食肉事業については、当社が資本参画するカナダ最大の養豚企業であり、日本が輸入するカナダ産冷蔵豚肉No.1の販売数量を誇るHyLife Group Holdings (HyLife)とブランド豚を共同開発し、独自の品種と飼料配合により安心・安全・高品質で定評がある豚肉販売の拡大を図っています。HyLifeのみならず、今後も当社グループとのバリューチェーンの更なる強化を推進していきます。

また、当社は、営業・スタッフ部署においてもお互いの人材を出向させる等の人的交流を通じて、同社との相互の理解を深める取組みも行っており、同社の中長期的な成長及び更なる企業価値の向上に貢献するシナジー創出を積極的に図っていきます。



茨城工場 新ウインナープラント

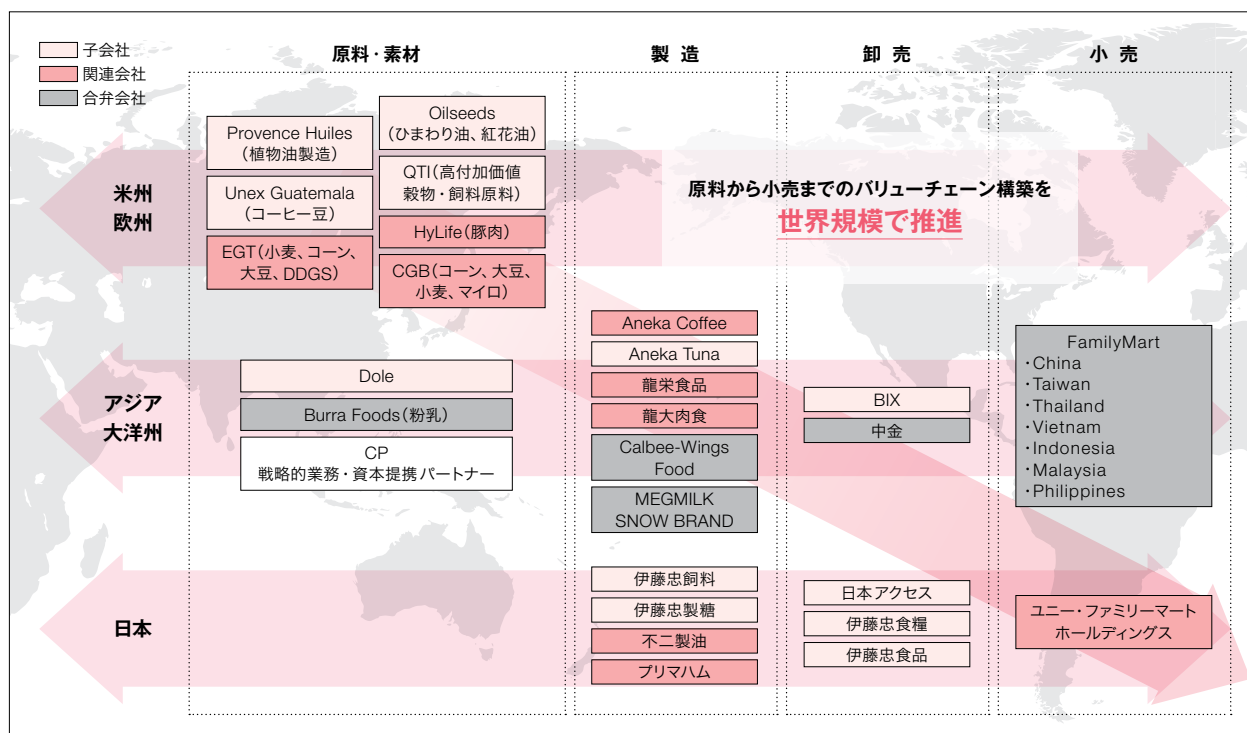


主力ブランド

持続的成長に向けた取組みは、当社ウェブサイト サステナビリティページも併せてご覧ください。

📄 <https://www.itochu.co.jp/ja/csr/activities/food/>

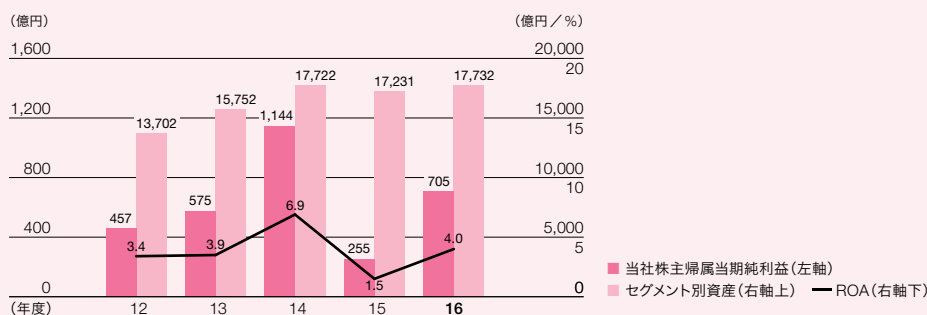
事業展開



業績の推移

※ 2012～2013年度は米国会計基準

当社株主帰属当期純利益／セグメント別資産／ROA



単位：億円

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
<主要連結対象会社からの取込損益内訳>					
ユニー・ファミリーマートホールディングス(株)*	91	73	81	61	74
Dole International Holdings(株)	0	71	48	△169	83
株日本アクセス	108	116	86	89	122
不二製油グループ本社(株)	23	21	24	24	27
プリマハム(株)	24	20	27	26	37
伊藤忠食品(株)	19	10	13	15	17
HyLife Group Holdings Ltd.	1	0	21	26	27
<単体トレード貢献割合(イメージ)>					
	約15%				
全社子会社・関連会社数に占めるカンパニー比率(社)	国内		13%(17)	14%(18)	14%(18)
	海外		11%(22)	10%(20)	9%(17)

※ ユニー・ファミリーマートホールディングス(株)は2016年9月に(株)ファミリーマートとユニーグループ・ホールディングス(株)との経営統合により、(株)ファミリーマートから社名を変更しています。

セグメント概要

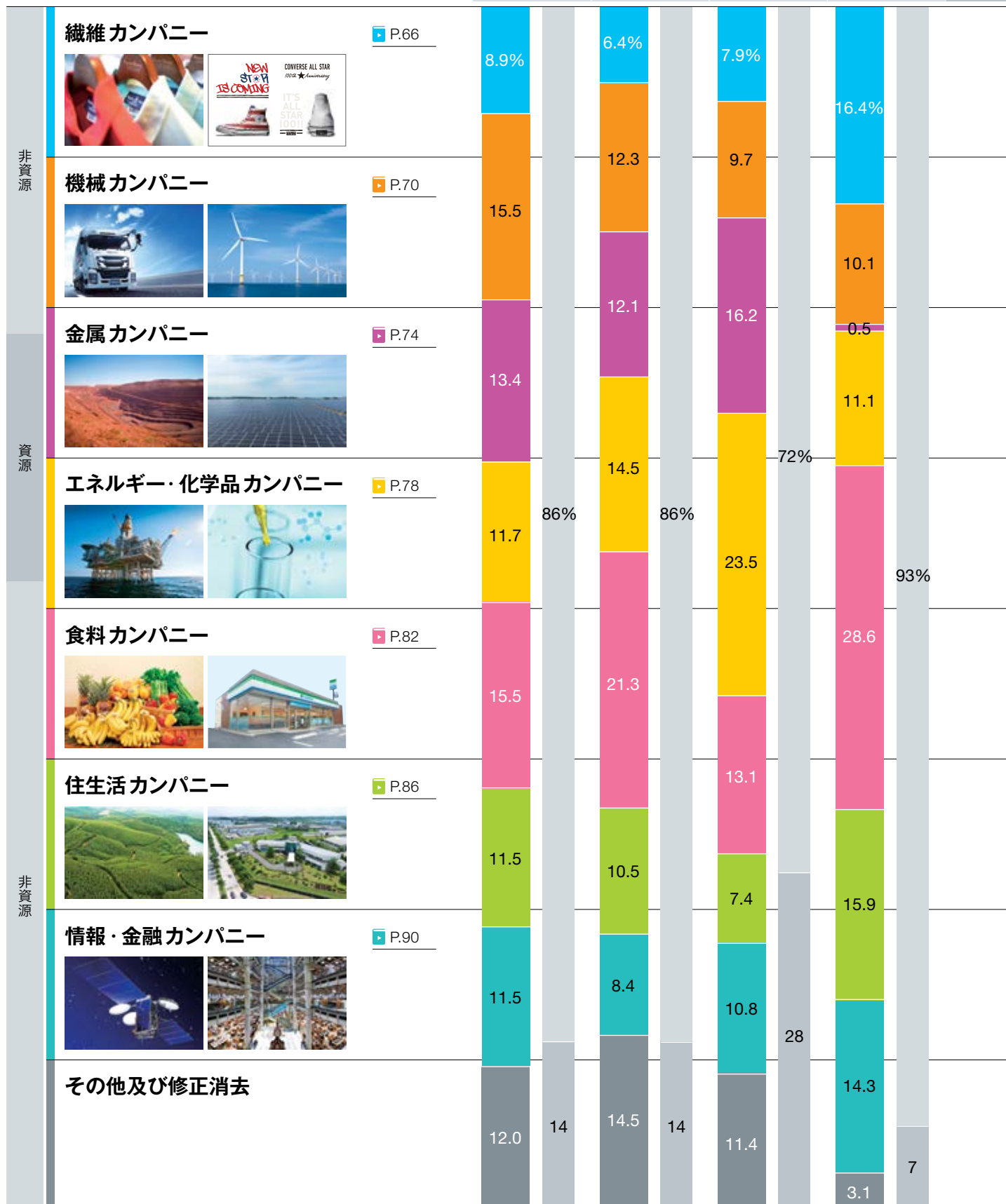
全社の各重要数値に占めるカンパニー比率、非資源・資源比率(過去3年平均)

連結純利益

総資産

営業
キャッシュ・フロー

連結従業員数



※連結純利益は一過性損益を除いた過去3年平均で算出

事業分野	2016年度ハイライト
■ ブランドビジネス ■ 素材・服飾資材・アパレル ■ 繊維資材	■ (株)ジョイックスコーポレーションにおいて、「ポールスミス」に次ぐ中核ブランドとして2017年春夏シーズンより「サイコバニー」ブランドのアパレル分野の展開を開始。初年度に路面店を含む約20店舗の出店を見込む ■ 「コンバース」ブランドの更なる進化に向け、「オールスター」生誕100周年を機に、機能を高めた「ALL STAR 100」シリーズを発売。加えて、仏著名デザイナーによるハイエンドライン「AVANT CONVERSE」の展開を開始
■ プラント・電力(石油化学、水・環境、インフラ、IPP) ■ 船舶・航空(新造船・中古船仲介、船舶保有、民間航空機、航空機リース) ■ 自動車(乗用車・商用車の国内外販売、事業投資) ■ 建設機械・産業機械・医療機器(国内外販売、事業投資)	■ CITIC Pacific Ltd.と共同でドイツ・ブーテンディーク洋上風力発電所の権益22.5%を取得 ■ インドネシア・サルラ地熱発電IPPプロジェクトの第1号機商業運転開始 ■ 病院向けTVシステム販売で全米No. 1シェアのTelerent社がAV機器の設計・施工事業を展開するDNG社を買収
■ 金属・鉱物資源開発(鉄鉱石、石炭、アルミナ等) ■ 原料・燃料・製品トレード(鉄鉱石、石炭、アルミ、ウラン等) ■ 鉄鋼関連ビジネス(鉄鋼製品の輸出入、販売、加工) ■ 環境関連ビジネス(メガソーラー事業、バイオマス燃料トレード等)	■ 新潟山太陽光発電所にてメガソーラー事業の商用運転を開始 ■ 豪州Jimblebar鉄鉱山の拡張が進み、年産5千万トンに到達
■ エネルギー開発(LNGプロジェクト、石油・ガスプロジェクト等) ■ エネルギートレード (原油、石油製品、LPG、LNG、天然ガス、電力等) ■ 化学品事業・トレード	■ CITIC Resources Holdings Limitedとの石油・ガス開発分野での協業強化に向けた覚書の締結 ■ 住友化学(株)とメチオニン事業で販売提携に関して基本合意 ■ ロシア連邦・東シベリアでの石油探鉱事業における一部油田の生産段階移行
■ 原料・素材 ■ 製造加工(生鮮、食糧) ■ 中間流通(総合食品卸) ■ 小売(CVS、GMS)	■ (株)ファミリーマートとユニーグループ・ホールディングス(株)が経営統合し、ユニー・ファミリーマートホールディングス(株)が発足 ■ RIZAPグループ(株)及び(株)ファミリーマートと、ヘルスケア及びライフスタイル領域におけるアライアンスを締結
■ 木材・建材(製造、卸) ■ 紙・パルプ・衛材(製造、卸) ■ 天然ゴム・タイヤ(加工、卸、小売) ■ 住宅・物流施設等開発・運営 ■ 物流(3PL、国際輸送等)	■ インドネシア・カラワン工業団地、約200ヘクタールの敷地を取得の上、拡張工事推進 ■ 伊藤忠グループ100%子会社の伊藤忠物流(中国)有限公司を中心に、中国のネット通販向け物流センター開発、及びセンター運営受託を拡大
■ 情報(ICT、BPO、ヘルスケア) ■ 通信(モバイル、メディア、衛星事業) ■ 金融(リテール、法人) ■ 保険(流通、引受) ■ フィンテック・AI・IoT	■ AIやフィンテックの活用による情報通信と金融の垣根を越える新たな事業領域への挑戦(株)ABEJA／(株)グリッドとの資本参加) ■ 伊藤忠グループ・製薬企業向けBPO事業における事業再編 ■ ほけんの窓口グループ(株)との関係強化
	■ CITIC Medical & Health Group Co., Ltd.と医療・健康関連ビジネスにおける合併会社設立に向けての意向書を締結 ■ CITIC Holdings Co., Ltdと共同で開発した中国人富裕層向け越境ECサイトの運営を開始